

選 百 水 疏

選定の考え方

平成 17 年 3 月

目 次

- 1 . 選定の対象 . . . 1 頁
- 2 . 百選の考え方 . . . 2 頁
- 3 . 選定手順 . . . 4 頁
- 4 . 今後のスケジュール . . . 6 頁

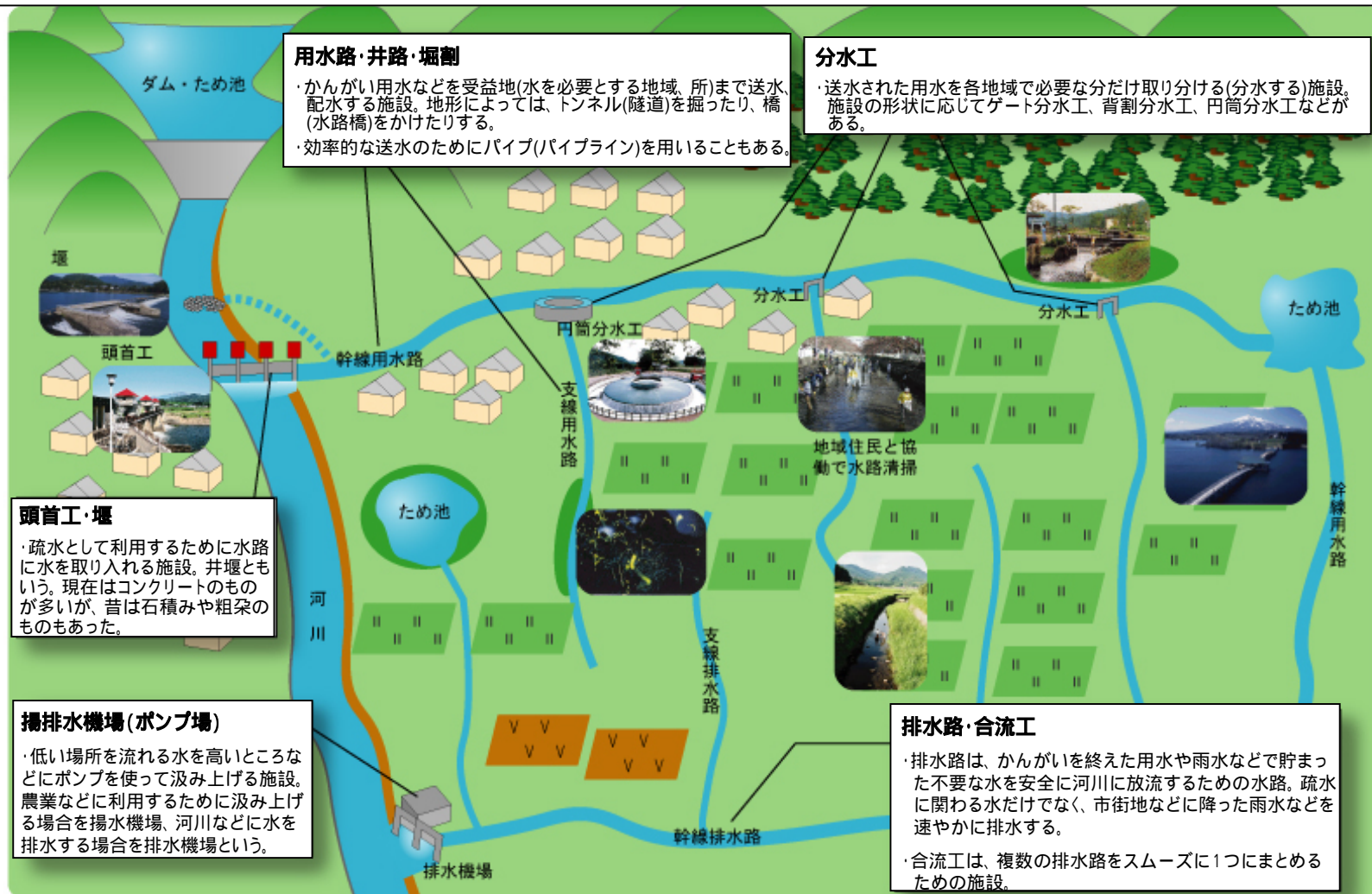
1. 選定の対象

水の用途に農業のための水が含まれていること。

「疏水」として、通水するための施設。もしくは複数の施設が形成する水利システムを対象とする。

具体的には、取水するための施設（堰、頭首工、取水施設など）、水を流すための水路、水を分水したり排水するための施設（分水工、ゲート、排水機場など）

（水を貯めるためのダムやため池などは、今回の選定対象とはしない。）



2. 百選の考え方

各地の様々な歴史・風土の中で形成されてきた疏水は、その形態や機能、役割が多様であることから、その多様性に応じて4つのテーマを設定し、募集・選定してはどうか。

1) テーマ設定の例とその考え方

地域振興	歴史・文化・伝統	環境・景観	地域コミュニティの形成
食料の安定供給や地域の農業振興に効果を発揮しているもの 都市の形成など地域の振興・形成に大きく貢献したもの	歴史的、文化的な施設を有するもの 水を巡る伝統儀式や芸能、様々な慣習が保全されているもの 築造にまつわる由緒や歴史を秘めたもの	メダカやトンボなど様々な生き物が生息する豊かな生態系を形成しているもの 疏水が美しい景観の構成要素となっているもの	地域住民、NPO等多様な主体も参加して保全活動が実施されているもの 地域用水機能が発揮されているもの

2) テーマ毎の評価の視点

評価に関する基本的な事項として、
 疏水百選の趣旨に適合していること
 適切に維持管理がなされていること
 に加えて、テーマ毎の選定の評価を、下表のとおりとしてはどうか。

地域振興	歴史・文化・伝統	環境・景観	地域コミュニティの形成
<p>地域開発や都市の形成に貢献している <例> 安積疏水による、郡山市の形成。</p> <p>大規模な農業地帯の形成 <例> 明治用水により、不毛の大地が、「日本のデンマーク」とよばれる優良農業地域に変貌</p> <p>新たな作物の生産や収穫量の増大による産地の形成</p>	<p>長い歴史や由緒を有するもの</p> <p>文化財指定（国、都道府県、市町村）や、関連した記念碑、資料館が設置されているなど文化的価値が高いもの</p> <p>用水にまつわる伝統芸能（人形浄瑠璃、薪能など）、祭りがおこなわれているもの</p> <p>用水の歴史などが、小中学生への教育に活用されているもの</p>	<p>貴重な生物種や多様な種類の生物の生息環境が保全されているもの</p> <p>疏水と周辺の農村風景との調和がとれ、良好な景観が広がっているもの</p> <p>集落の中を流れる豊かな水を湛える水路など、疏水が地域の景観の主体となっているもの</p> <p>四季折々の美しい農村景観を形成しているもの</p>	<p>地域住民やNPO、都市住民など多様な主体の参画により保全活動が行われているもの</p> <p>散策路、親水公園など地域の人びとが日常的に寄り集う場所となっているもの</p> <p>子供たちの遊び場として開放されているもの</p> <p>防火用水や消雪用水など地域用水として機能を発揮しているもの</p>

3 . 選定手順

1) 募集の考え方

国民から広く募集することを基本とする。

一般の人々が気軽に応募できるように を応募の際の必須項目とし、事務局で不足する情報を補足することとする。

応募資格

特に設けないこととする。

応募に当たり求める情報

施設の名称、 所在地、地域の概要、施設の概要・特徴、 該当テーマ、

応募する理由（アピールする点、好きな理由など）

応募者連絡先、 管理状況（体制や方法）など

は、必須項目

応募に当たり求める資料等

施設等のPR写真（可能な範囲で直近の撮影）、評価の参考となるパンフレット・概要書・事業史など

施設等にまつわる関連資料など

応募を促す方法

応募用のパンフレット（応募調書）を作成し、関係機関（行政（国、都道府県、市町村）、各種団体（水土里ネット等））、学校、NPO等へ配布

webサイト上に百選関連サイトを開設

マスメディア（雑誌、新聞等）を活用した募集広報の展開

応募の受付方法

郵便、FAX、電子メール等による応募調書の受付

webサイト上にも応募フォームの開設

2) 選定の考え方と公表

- ア．多数の応募のなかから、公平性を保ちつつ、効率的に選定する方法の検討が必要。
- イ．選定過程にも国民の意見を反映できる仕組みの検討が必要。

百選の候補地区として応募されてきた地区の適性を事務局で確認・審査する

専門家等による助言をいただきながら一定数までの地区の絞り込み（例えば150～200程度）を行う（第1次選定）

国民の関心を高めるため、一定数まで絞り込んだ候補地区をインターネット等による投票にかける

投票結果を踏まえて、選定委員会で百選地区を選定する（最終選定）

応募地区についての審査の公平性を保ち、疏水百選としての適性を確保するため、水土里ネット等を通じて地区の確認を行い、必要に応じて応募内容を補完する

- ウ．オーライ！ニッポン全国大会等において、百選地区の認定と公表。
- エ．選定過程を含めて、国民的関心が高まるよう広報活動を展開。

4 . 今後のスケジュール

第1回 選定委員会

基本的枠組みの検討

3月22日

第2回 選定委員会

実施方法、応募方法、選定基準等の決定

5月下旬

国民に呼びかけ

百選の募集開始

応募地区の事前確認
(基本的な事項の確認)

第3回 選定委員会

百選候補地区の選定 (投票対象地区の決定)

10月中旬

国民に呼びかけ

(全国土地改良大会山形大会で投票対象地区の紹介)

インターネット等による投票

第4回 選定委員会

百選の選定

1月中旬

公表

百選の公表

オーライ！ニッポン全国大会等

百選地区の認定式

2月中旬

百選選定後の広報活動

保全活動の優良事例を公募、表彰
疏水の写真コンクールなどを実施 等